事故の記録　犯罪の抑制　トラブル解決

防犯カメラで事件・事故対策に！

防犯カメラは安心して見守ります。

幼稚園

保育園

老人ホーム

- 利用者同士の喧嘩確認
- 施設スタッフとのトラブル確認
- 園児とのトラブルの解決に
- 不審者の侵入対策に
- 職員の業務改善に
- 認知症患者の夜間徘徊確認に
- 駐車場の事故、トラブル確認に

音声付きカメラなら、トラブルの音も聞けてさらに安心！！

防犯カメラの映像で犯人逮捕！

朝日新聞　２０２２年８月１７日　朝刊　２１ページ　埼玉首都圏

入居者の現金盗む容疑の元職員逮捕
川口　サ高住　被害複数か

川口市の高齢者向けのサービス付き集合住宅で入居者から現金を盗んだとして、武南署が運営会社の元職員の男を窃盗容疑で逮捕していたことが16日、捜査関係者への取材でわかった。逮捕は15日付。男は内部調査に複数の入居者から現金を盗んだことを認めており、県警は被害が多額になるとみて調べている。

逮捕されたのは無職中村淳容疑者(46)＝同市芝下3丁目＝で、施設の職員だった6月8日午前10時半ごろ、入居者の男性(89)の部屋から現金約19万円を盗んだ疑いがある。部屋は無施錠で、男性は就寝中だった。中村容疑者は黙秘しているという。

発覚は6月末。男性の家族が「現金を盗まれているかも知れない」と署に相談した。署は共用部の防犯カメラの映像を分析するなどして、7月26日、男性の部屋に6月下旬にマスターキーで侵入し、現金約11万円を盗んだとして中村容疑者を逮捕した。その後の捜査で今回の被害が判明した。

住宅の運営会社によると、中村容疑者は2017年10月の採用で、入居者の介護を担当していた。内部調査に複数の入居者への盗みの事実を認めたため、7月6日付で懲戒解雇した。運営会社は被害者に、補償を検討しているという。

一方、再発防止策では、共用部の防犯カメラの映像の点検を強化した。マスターキーは事務所の鍵付き棚に保管し、持ち出しには複数職員の立ち会いを義務付けてきたが、事務所の防犯カメラを増やしたという。

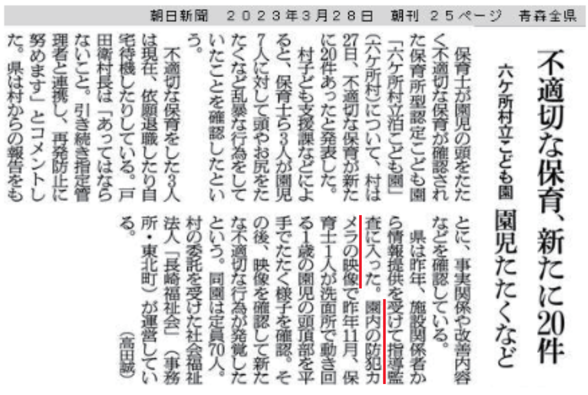
被害防止へ「身近な人が関心を」　協会

事件は需要が高まっているサービス付き高齢者向け住宅で起きた。様々なサービスを受けられるが、介護施設や老人ホームとは違い、あくまで賃貸住宅の扱い。一般社団法人・高齢者住宅協会（東京都）によると、「自由な生活」ができる一方で、窃盗については「対策や注意点を一概に挙げるのが難しい」という。

施設によるが、身の回りのことを全てできる人も多く利用しており、現金の管理についても、他人に任せない▽運営側に金融機関まで同行を頼む▽親族が小遣いを運営側に預ける――などニーズは様々。運営側の対策は容易でないという。

被害の抑止や早期発見には家族の積極的なサポートが不可欠だ。今回も、最初に疑問を持ったのは家族だった。協会は「身近な人が入居者について関心を持つことが大切」としている。

（有元愛美子、野口駿、仁村秀一、森下友貴）



朝日新聞　２０２３年３月２８日　朝刊　２５ページ　青森全県

不適切な保育、新たに20件
六ケ所村立こども園　園児たたくなど

保育士が園児の頭をたたくなど不適切な保育が確認された保育所型認定こども園「六ケ所村立泊こども園」（六ケ所村）について、村は27日、不適切な保育が新たに20件あったと発表した。

村子ども支援課などによると、保育士ら3人が園児7人に対して頭やお尻をたたくなど乱暴な行為をしていたことを確認したという。

不適切な保育をした3人は現在、依願退職したり自宅待機したりしている。戸田衛村長は「あってはならないこと。引き続き指定管理者と連携し、再発防止に努めます」とコメントした。県は村からの報告をもとに、事実関係や改善内容などを確認している。

県は昨年、施設関係者から情報提供を受けて指導監査に入った。園内の防犯カメラの映像で昨年11月、保育士1人が洗面所で動き回る1歳の園児の頭頂部を平手でたたく様子を確認。その後、映像を確認して新たな不適切な行為が発覚したという。同園は定員70人。村の委託を受けた社会福祉法人「長崎福祉会」（事務所・東北町）が運営している。

（高田誠）

BAIRY